

## 令和6年度 第2回とみやわくわくミーティング 実施報告書

テ ー マ	大亀山森林公園について ～地域に愛される公園にするには～		
日 時	令和6年10月3日(木) 10:00～12:00		
場 所	大亀山森林公園 管理棟(亀亀館)		
座 長	宮城大学 事業構想学群 准教授 佐々木 秀之 氏		
参 加 者	一般参加	8名	
	宮城大学学生	3名	
	富谷市	6名(市長、総務部長、都市計画課長、市民協働課長、都市計画課2名、市民協働課3名)	
	傍聴者	2名	

<次第>

1. 開会

2. 挨拶 富谷市長 若生 裕俊

皆さんおはようございます。本日は第2回とみやわくわくミーティングにお集まりいただきありがとうございます。昨日は10月とは思えないような暑い日でしたが、今日はまさに秋雨のような、少し寒くなった中、わくわくミーティングに参加いただきましてありがとうございます。そして足元の悪い中、大亀山森林公園までそれぞれ足を運んでいただいて、公園を一周していただきました。改めて感謝申し上げます。

大亀山森林公園は平成7年の4月1日に都市公園ということでオープンし、歴史を積み重ねてまいりました。30.4ヘクタールの大きさを誇る富谷を代表するシンボリックな公園であり、大亀山森林公園をもっと多くの人達に足を運んでいただき、利用してもらえるための方法について長い期間検討を重ねてきたところです。

そういった中で、今日ご参加いただいております、村上代表の元、SCRの皆さんがNPO設立の時から、大亀山森林公園をフィールドとして活性化したいということで、色々な活動をやってきました。そして、昨年の秋、宮城大学の風見先生にご指導いただきながら、森の公園ツリーハウスプロジェクトということで正面のツリーハウスに市民の皆さんからご参加いただき、秋から今年の春までの、半年をかけてプロジェクトを実施し、4月末に完成式を行ったのですが、100人ぐらいの市民の皆さんにご参加いただいて、手づくりでつくったものがツリーハウスです。

また、今年のゴールデンウィークに合わせて展望台をリニューアルしたところです。それに合わせて、SCRの皆さんがもしもしc a f eをオープンしました。通常は土日、月曜日のオープンですが、今日はこのわくわくミーティングに合わせて、特別お店を開いていただき、このような色々な形で活性化に取り組んでいただいているところです。

そして今年は毎月色々なイベントを大亀山森林公園をフィールドに開催しており、先月はわんわんカーニバルなど趣向を凝らしたイベントを開催させていただいているところです。また、ツリーハウスプロジェクトが先月、日本環境共生学会から環境活動賞という賞をいただき、先々週大阪で行われた授賞式に出席してきましたのですが、市民の皆さんの参加をもとに行ったプロジェクトということで大変高い評価をいただいたところです。

これからますますこの富谷を代表する大亀山森林公園をいかに市民の皆さんに愛していただき、足を運んでいただき、できれば市内外の人たちにも、もっともっと利用していただきたいと思っていますところで

すので今日は皆さんにご参加をいただき、大亀山森林公園の活性化に向けてご意見をいただければと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

### 3. 座長紹介、市出席者紹介

### 4. 担当課（都市計画課）より情報提供

私からは大亀山森林公園の概要につきまして、説明させていただきます。資料といたしまして大亀山森林公園の概要、大亀山森林公園マップ、新しい大亀山で遊ぼうの3枚をお配りしております。

まず、大亀山森林公園の概要ですが、開園期間につきまして、今年度は冬期間につきましても、SCRさんのご協力により、月1回のイベント開催と、土曜日・日曜日・月曜日の週3日にこちらの管理棟においてももしもc a f eを開催することとしております。主要施設概要についてですが、2番目にありますツリーハウスを昨年度に市民参加型のワークショップにより大亀山の新たなシンボルとして整備を行ったところ。その3つ下にあります展望台につきましても、安全性向上の目的から昨年度に改修工事を行っております。また、その下のバーベキュー広場の注釈にございますが、宿泊のキャンプにつきましても、平成22年度以降廃止としているところ。す。

次に、大亀山森林公園マップですが、こちらはNPO法人SCRさんに作成していただいた公園の案内図となります。マップ中央の建物が、現在皆様がいらっしゃる管理棟でございます、その右上が先ほどご覧いただきましたバーベキュー広場と、記載はありませんが、旧キャンプ場となっております。

最後に新しい大亀山で遊ぼうのパンフレットですが、こちらは、大亀山森林公園と併せまして、今年4月にオープンいたしましたやすらぎパークとみやパークゴルフ場につきましても 皆様に一体的なご利用をいただけるようご案内するものとなります。

さて、今回のとみやわくわくミーティングですが、テーマが大亀山森林公園について、サブタイトルを地域に愛される公園にするにはということで、皆様からご意見をいただくこととしておりますが、話し合いの視点・方向性といたしまして2点述べさせていただきます。

1点目でございます、管理棟・管理棟周辺の利便性を向上させるアイデア・提言となりますが、こちらにつきましても、サブタイトルでございます、地域に愛される公園にするにはを主体にご意見をいただきたいと考えております。大亀山森林公園におきましては、昨年度に、市民参加型のワークショップによるツリーハウスの建設と、老朽化した展望台の改修を行い、リニューアルを図ったところですが、今年度におきましてNPO法人SCRさんと契約を結び、毎月のイベント開催や、管理棟内でのもしもc a f eのオープンにより、新たな魅力の開発に努めているところでございます。その成果といたしまして、今年度におきまして管理棟やツリーハウスのある広場をご利用いただいている方が昨年度の3倍となり、富谷市民の方だけにとどまらず、富谷市外からも多くの方々にご来訪いただき好評をいただいているところでございます。大亀山森林公園は自然環境に恵まれた、大変魅力のある公園であり、さらに多くの方々にご来訪いただくためにも、まずは「地域の方々に愛される公園」として富谷市にお住まいの方々に自信をもって富谷市のおすすめスポットとして紹介していただけるような公園を目指していくことが重要であると考えております。このことから皆様には、地域に愛される公園として、大亀山森林公園の新たな魅力の開発をはじめ、富谷市に大亀山森林公園があることを自慢できるような公園にするためのアイデアをご提案いただきまよう願いたします。

2番目としまして、旧キャンプ場エリアを有効活用するアイデア・提言でございます。大亀山森林公園には以前、バーベキュー広場付近に宿泊キャンプ場がありましたが、ご利用いただく方への安全管理上の問題をはじめ利用者のマナー違反などもあったことから平成22年以降、利用を中止しているところ。す。現在

もバーベキュー広場は活用されているものの、旧キャンプ場エリアには、NPO法人SCRさんに設置していただいた竹ドームのみが設置されている状況で、旧キャンプ場のエリアの多くは広場としての利用にとどまっております。このことから、皆様には旧キャンプ場エリアのさらなる有効活用に繋がるアイデアをご提案いただきますようお願いいたします。わたくしからの説明は以上でございます。

## 5. ミーティングレクチャー（座長より）

それでは、少しお話をさせていただいて、その後グループワークに入っていきたいと思います。最初に、今日のテーマは愛される公園にするためということです。私の記憶ですと、このわくわくミーティングでは、2年前にも、大亀山森林公園をテーマに取り上げたと思います。その時の会場は、市役所だったと思いますが、大亀山森林公園の展望台のことなどの議論が出ておりました。老朽化していた展望台を取り壊す話題も出ていましたが、なんとか活用できないのか、具体的なアイデアも含めて議論がなされました。先ほどのフィールドワークでは、通り沿いの、木々の隙間から形状が見えましたが、皆さんの意見が、こういう形で活かされたのだなと思ったところです。こうした市民参加型でのまちづくりの延長では、公園の整備において、ツリーハウスプロジェクトなどにも話が発展しており、公園を訪れる来訪者も、2年前と比べると3倍になったということでしたが、こういった地道な話し合いが身を結んでいるということなのかと思いました。歩きながら、そのことを確認することが出来ました。

ただ一方で、まだまだ愛される公園には物足りないということで、今回は、もちろん数値的なエビデンスで図ることは難しいのですが、さらに愛されるためにということでテーマ設定がなされています。今日は、2年前同様に、幅を広げての議論をしていきたいと思います。

さらに愛される公園にするためには、についての議論の後には、2番目のテーマとして、旧キャンプ場エリアの有効活用するアイデア出しが用意されています。先ほどのフィールドワークで見た限り、ここがキャンプ場だったと想像するのは難しかったのではないのでしょうか。今日、現場を見た限りでは、なかなかあそこに泊まるというイメージは持てなかったですね。ですので、現代的なことも取り入れて、キャンプ場をどうするかという話になってくると思います。猪が活発に活動している様子も窺えましたので、キャンプ場にとらわれずに、第3のアイデアも含めて議論して良いと思います。

今日は学生もテーブル補佐として参加しております。ライフスタイルも変わってきておりますので、世代を超えた議論をしていただいて、都市近郊にこれだけの魅力がある場所を持ち合わせている自治体は少ないと思いますので、この最大の魅力を引き出すような、近郊からも訪れるようなことも視野に入れて、活発な議論をしていただければと思います。それではよろしく申し上げます。

## 6. 意見交換

### ○グループ1

私たちのグループでは主に愛される公園にするには、について話が広がったのですが、ポイントは、駐車場とネット化です。駐車場というのは、駐車場から広場やバーベキュー場までが遠いということと、あと場所が分かりづらいというのがあるので、もう少し駐車場から開けて、広場が見えるくらい近くに駐車場を設置するというアイデアが出ました。ネット化というのはまたもう一度キャンプ場にする際に、予約がネットからできた方がいい。この施設にWi-Fiが繋がるほうが良いという点からです。

キャンプ場についてはもう一度やるにしてもお金をしっかり取ってもらってやったほうが良いということで、無料ではなく、公園の整備にそのお金をつなげていくという意見が上がっていました。

あとは公園自体を知ってもらうという点でメーカーとコラボしたり、自然界隈といわれる最近流行りがあるのでSNSで見かけるようなカフェとのコラボを考えました。

## ○座長

全体的にブランディングの話かと思います。駐車場からのアクセス、或いは全体像の把握がしにくい点の指摘でした。このエリアを示す全体像のマップはあるといいですね。また、キャンプ場での何かしらの収益事業を考えてもいのでは、とありましたが、私もソーシャルビジネスが専門ですので、そういう社会貢献型の事業の可能性もあるという話には関心が持てました。

## ○グループ2

どんな人をターゲットにするかで、小さいお子様連れで利用されるということがあると思うのですが、その割には駐車場と色々な場所が遠い。でもそこに行く過程を楽しもう、楽しんでもらおうということで、例えば亀亀館まで行こうとなった時に、ここに花を植えて、花を見ながら歩いてもらおうという意見が出ました。また、それをキャンプ場の方にもやりまして、キャンプ場は段々になっているのでその段々の地形を活かして花壇にする。花壇を自分たちで管理するのは大変なので市民の方がボランティアでコミュニティガーデンとしてガーデンを管理する。あとは食べ物の影響が大きいのでカフェに富谷のものを活用した名物料理を作り、そこでPRをしていく。

さらにこの亀亀館の活用としてワークショップをやっていこうというのが出ました。ワークショップというのは何かとなった時に私の知り合いで女川のみなとまちセラミカ工房さんがいるのですが、ワークショップをするとスペインタイル二つ作ることができ、一つは自分用でもう一つは商店街とかに埋め込みます。それを1回来て作って、取って、設置されたのを見に来る。1回来て終わりじゃなくて2回、3回と活用でき、杉は腐ってくると思うんですけど、腐ったらもう1回作ってくださいというような話になりました。

## ○座長

先ほどのチームから出ていた駐車場からのアクセスに関して、プラスして駐車場から歩く過程を楽しむような工夫、例えばコミュニティガーデンとのアイデアがありました。この会場にも木のワークショップグッズが多く置かれていますが、工夫の余地はありますね。

名物料理という話題もありました。カフェののぼりをみますと爆弾おにぎりとあります。これもまさに今、名物を作り出そうとされているところかと思います。

総じて、3年前のミーティングの際は、ハード整備の話が多かったように記憶していますが、その後、市民参加型でのハード整備が非常にうまく進み、展望台の再生や市民参加型でのツリーハウス設置などがあり、今日は、これらをどう生かすかという議論になっていったと思います。全体像を示すマップや、Wi-Fi 整備などは、ちょっと時間がかかるものではありますが、出た意見を反映しながらできることから進めていくということで、さらにこの場所の魅力が高まると思われる議論でした。

## 7. 市長感想

貴重なご意見を賜りまして本当にありがとうございます。共通して、まずは駐車場とバーベキュー場、キャンプ場の不便さが出ました。これまでずっと課題になっていて、ここは大亀山森林公園を整備する際に、なるべく元々の自然を壊さないように元々の地形を守りながら、都市公園として整備しましょうというところから始まったので、どうしても駐車場が、平場が少なかったということもあって、ずっと長年の課題でございます。やっぱり今回、改めてこの大亀山森林公園を活性化、もっと利用しやすい公園としてやっていく上では、色々考えていかなくてはいけないと感じたところでございます。また、不便さを逆に楽しむというような方策という部分で前向きな意見をいただきまして本当にありがとうございます。

色々な方々に協力いただきながら、もっと様々な雑誌、メディア、SNSなどで発信をして、この大亀山森林を知っていただくことが、まずは第一歩かなというご意見をいただきました。早速すぐやれるところだと思っておりますので、これからもさらに力を入れていきたいと思っております。名物料理、爆弾おにぎりも私も大好きなので今日も予約したのですが、これからもカフェの方でも名物やもっともっと楽しいメニューをSCRの皆さんにどんどん開発していただけたらと思っておりますし、皆さんの方からアイデアをいただけたらSCRの皆さんもやりやすく、参考になるのではと思っておりますので、ぜひご協力いただければと思っております。

色々ご意見いただいたことを活性化に向けて活かしていきたいと思っております。本日は本当にありがとうございました。

## 8.閉会

---